

# 石めぐり

目安の  
所要時間 90 ~ 120 分

おすすめ  
展示棟番号

市街地群

(9) (10) (19) (20) (21) (29)

漁村群

(33) (43) (44) (47)

農村群

## 視点

開拓の村の石に注目したコースです。

開拓の村の建物や展示資料から、どのような「石」がどのような場所に使用されたのかを確認して回ってみましょう。裏面に紹介している石は、触れてみることも可能です。手触りの感覚、温かさなども注目してみましょう。

ようけつぎょうかいがん

溶結凝灰岩

通称：札幌軟石

産地：北海道札幌市南区

加工しやすいものの風化に強く耐熱性があります。

店舗・事務所や蔵・倉庫などの壁材として建築に利用されてきました。

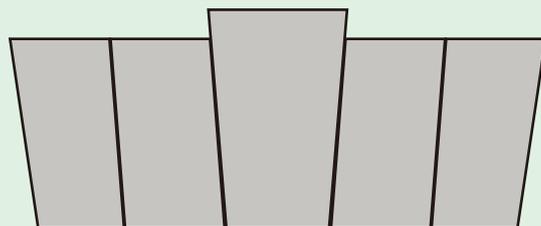


デイサイト（旧：石英安山岩）

通称 札幌硬石

産地：北海道札幌市南区

加工しにくいですが、硬質で吸水性が低いため、礎石・土台や石垣など、幅広く利用されてきました。

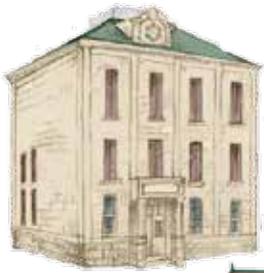


比べてみよう！！

小樽新聞社の窓上のキーストーンと  
浦河支庁庁舎のベランダドア上部の意匠

石に興味を持った人は次の博物館を訪れてみよう！！

札幌市博物館活動センター  
地図と鉱石の山の手博物館  
北海道大学総合博物館



### ⑨旧小樽新聞社

内部に木造の骨組みを持つ木骨石張り<sup>けんちく</sup>建築。移築の際に鉄骨に変更しています。



### ⑩旧開拓使工業局庁舎

工業局が手掛けた豊平館<sup>ほうへいかん</sup>は、基礎が札幌硬石。工業局自体が何を使用していたかは不明。

### ⑬旧三河本そば屋

注：石蔵は札幌軟石で再現。移築前は小樽産の桃内軟石でした。

### ⑳旧武井商店酒造部

主屋の基礎は主要な交易先でもあった福井県産の笏谷石<sup>しやくだにいし</sup>※です。蔵に使用しているのは大谷石<sup>おおやいし</sup>。石の色にも注目してみましょう。  
※近年の修繕により別産地の石を使用している箇所があります。

### ㉑旧近藤医院

若き日の小説家島木健作<sup>しまきけんさく</sup>も訪れた軟石積みの文庫蔵<sup>おとず</sup>があります。

### ㉒旧札幌拓殖倉庫

札幌駅裏に立ち並んでいた木骨石張りの建築の農作物用倉庫です。

### ㉓旧青山家漁家住宅

裏に回ると軟石の耐火壁が見られます。石蔵も備えて万全の火災対策。

### ㉔旧信濃神社

狛犬<sup>こまいぬ</sup>・手水鉢<sup>ちゆうずばち</sup>・参道<sup>てきざいできしよ</sup>と適材適所に石を使用しています。



### ㉕旧岩間家農家住宅

屋根材の板（長柱）<sup>ながまさ</sup>を抑えているのは石<sup>おさ</sup>です！

### ㉖旧小川家酪農畜舎

サイレージ<sup>さいれいじ</sup>という栄養豊富な牛の餌<sup>えさ</sup>作りに欠かせなかった軟石サイロ<sup>さいろ</sup>があります。

### 番外編

当初石造建築とすべく設計されたという②旧開拓使札幌本庁舎

石造古典様式を木造建築<sup>もぼう</sup>で模倣した⑧旧浦河支庁庁舎

